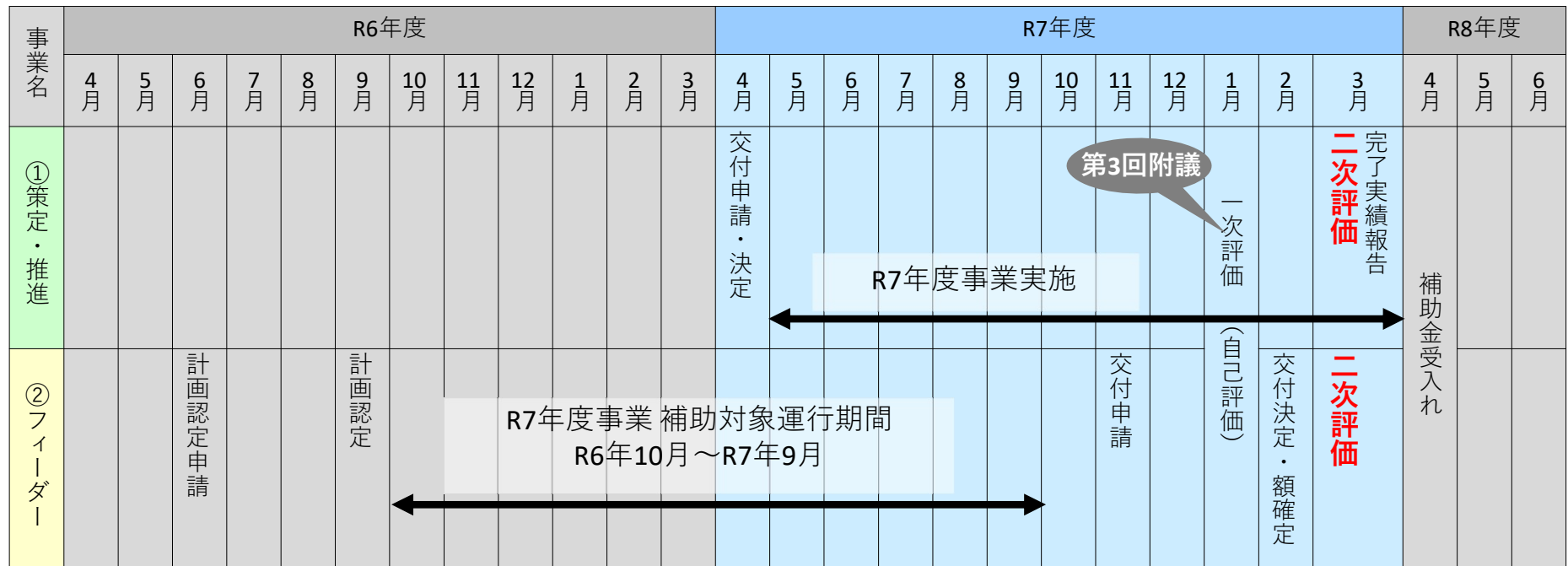


令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

本協議会においては、令和7年度国庫補助「地域公共交通確保維持改善事業」のうち、以下の事業を活用している。

事業名	交付対象等	令和7年度の主な実施項目
①-1 地域公共交通計画策定事業	地域公共交通計画の策定調査の実施に必要な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性及び交通の現況と課題整理 ・公共交通ネットワークの検討 ・地域交通のあり方検討 ・次期地域公共交通計画の骨子案とりまとめ
①-2 利便増進計画策定事業	利便増進計画の策定調査の実施に必要な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・都心内の運行効率化の検討 ・連節バス・PTPS等導入の検討 ・路線バスの利便性向上・運行効率化に向けた運賃施策の検討
①-3 利便増進計画推進事業	利便増進計画に基づいて実施される利用促進及び当該計画の達成状況等の評価の実施に必要な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシ等の作成業務 ・モビリティ・マネジメント実施業務
② 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金	地域内フィーダー系統と位置付けられた運行系統の経常費用と経常収益の差額	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交通（3地区：坪沼、新川、秋保）の運行 ・仙台都心循環線の運行

【各事業の手続きの流れ】 ※記載の手続きは全てR7年度事業に係るもの。



地域の概要

1. 基礎データ

仙台市
 人口：1,060,008人（R7.4.1現在・住民基本台帳）
 面積：786.35 平方キロメートル
 過疎地域等指定：山村（旧秋保村、旧広瀬村、旧大沢村、旧根白石村）
 高齢化率：25.42%（R7.4.1）
 協議会開催数：3回
 公共交通ワーキング開催数：6回（R7.4 ～ R7.12）
 地域交通ワーキング開催数：3回（R7.4 ～ R7.12）

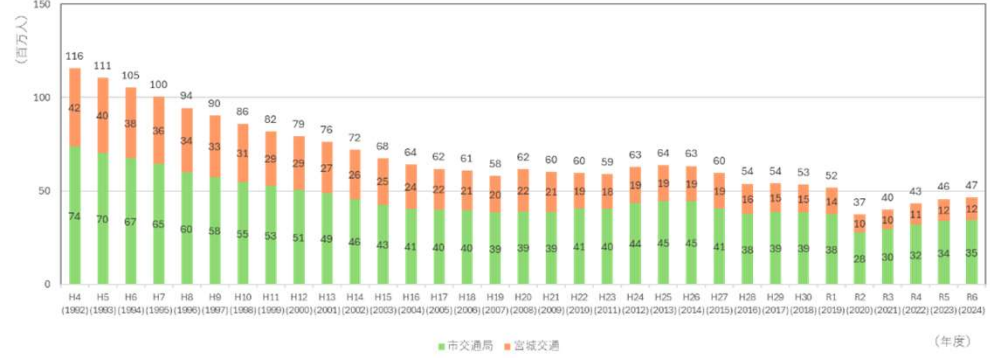
2. 公共交通の概況（R7.4.1）

【乗合バス】 運行：タクシー事業者42社
 路線バス エリア：仙台地区
 運行：仙台市交通局、宮城交【乗合タクシー】
 通（株）、愛子観光バス 運行：相互タクシー（株）、（有）高砂（株）、（株）タケヤ交通タクシー、（株）青葉タクシー、2525タクシー（株）、（株）キュットライフ、KM仙台タクシー（株）、（有）秋保交通、稲荷タクシー（有）
 路線：90路線 エリア：青葉区新川地区、宮城野区燕沢地区、田子・余目地区、岡田・鶴巻地区、若林区六郷東部地区、太白区坪沼地区、秋保地区、生出地区、郡山・八本松地区
 【鉄道】
 運行：東日本旅客鉄道（株）
 路線：4路線
 【地下鉄】
 運行：仙台市交通局
 路線：2路線
 【フェリー】
 運行：太平洋フェリー（株）
 路線：2路線

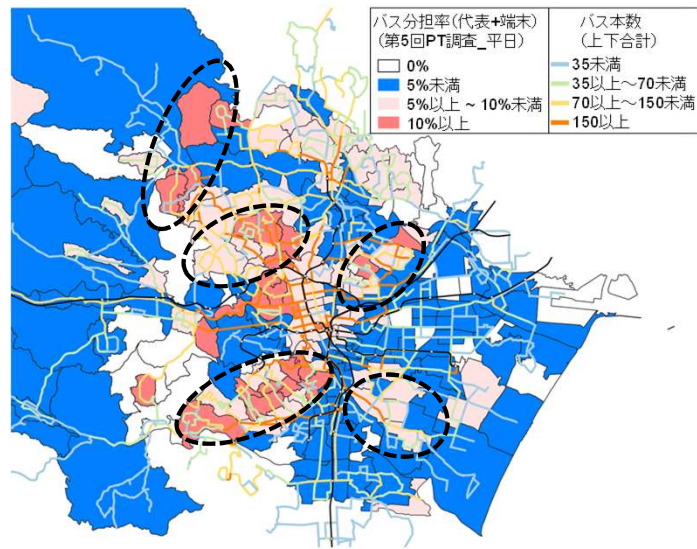
バス事業においては、運転士不足や燃料費等の高騰、乗車人員の減少傾向から厳しい経営状況が続いているが、公共交通を中心とした交通体系は、都市の基盤として、広域的な交流・連携や、通勤・通学・通院などの日常生活における移動を支え続ける必要があり、公共交通機関の安定運行や地域主体の移動手段の確保等に向けて、安定的・効率的な公共交通体系の構築が喫緊の課題である。

3. 公共交通の問題点

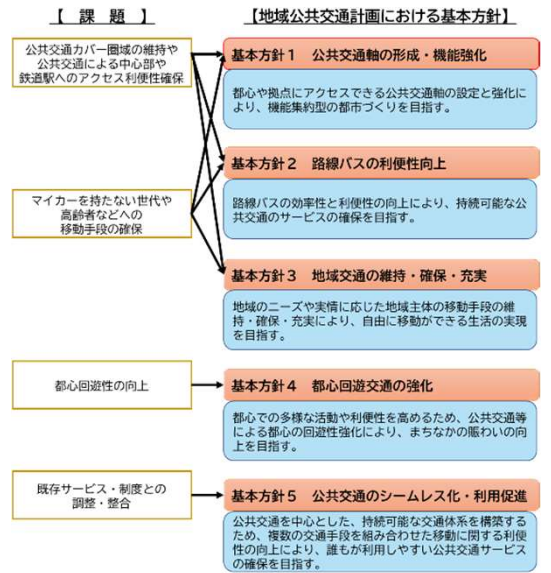
- ① 人口は近い将来にピークを迎えた後、緩やかに減少し、高齢化が今後も進む見込みであり、人口減少に伴う公共交通の利用者の減少・高齢化による移動制約者の増加が懸念される。
- ② 鉄道利用は増加傾向にあるが、路線バスは長期間の乗車人員の減少傾向から経営状況が厳しい。
- ③ バスの分担率は4%程度だが、鉄道・地下鉄沿線から外れた地域ではバスの分担率が比較的高い。
- ④ 大型二種免許保有者の減少により、バス運転手の確保が困難な状況にあることに加え、バス車載機やバス営業所建物等、施設設備の更新に多額の費用が必要となる。
- ⑤ 都心部では歩行者が仙台駅周辺に集中し、都心内での回遊性が低くなっており、公共交通等による都心の回遊性強化が求められる。



【バス乗車人員の推移】



【地域別バス分担率(平日・代表+端末)(2015)】



【公共交通に関する目標と基本方針】

※記入する際、枠の大きさの変更及び次頁に作成することも可能とします。

調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

1. 利便増進実施計画に関する調査分析
 - (1) 連節バス・PTPS等導入の検討
(交通シミュレーションの構築作業)
2. 公共交通ワーキングでの協議
 - (1) 第5回ワーキングでの協議

【今後予定している内容】

1. 調査分析
 - (1) 都心内の運行効率化の検討
 - (2) 連節バス・PTPS等導入の検討
(各施策導入結果の比較評価)
 - (3) 路線バスの利便性向上・運行効率化に向けた運賃施策の検討
2. 公共交通ワーキングでの協議
3. 報告書の作成

調査結果概要

1. (1) 連節バス・PTPS等導入の検討

- 連節バスやPTPS、バスレーンを導入した場合の効果をシミュレーションにより検証するため、令和6年度に実施した現地調査で収集したデータを用いて、交通シミュレーションモデルの構築を行った。

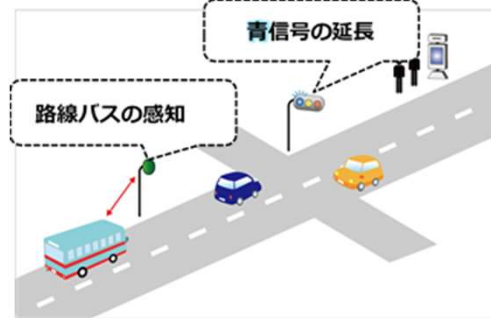
2. (1) 第5回ワーキングでの協議

- 交通シミュレーションの作業状況やシミュレーションの条件、今後の方向性について、確認や認識の共有を図った。

■ バスレーンのイメージ



■ PTPSのイメージ



■ 検討箇所



今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

- 1月上旬 公共交通ワーキング、調査分析
- 2月上旬 公共交通ワーキング、調査分析
- 3月上旬 公共交通ワーキング、報告書の作成
- 3月下旬 第4回協議会開催

【地域の交通の目指す姿】

市民との協働により、地域の実情に合った、誰もが利用しやすく質の高い公共交通を持続的に確保し、自由に移動ができる生活の実現とまちなかの賑わい向上を目指す。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）

令和8年1月16日

協議会名：仙台市交通政策推進協議会

評価対象事業名：利便増進計画策定事業

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業内容】 (1) 利便増進実施計画に関する調査分析 ①都心内の運行効率化の検討 ②連節バス・PTPS等導入の検討 ③路線バスの利便性向上・運行効率化に向けた運賃施策の検討 (2) 公共交通ワーキングへの参加</p> <p>【結果概要】 ・令和6年度に実施した現地調査により収集したデータを用いて、交通シミュレーションを構築。 ・今後は、各施策を導入した場合のシミュレーション結果同士を比較し、導入の効果を検証。 ・また、都心内の運行効率化や運賃施策の検討についても、今後実施を予定。</p>	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>A 今回の事業で実施した調査分析等によって、連節バスに関わるPTPSやバスレーンなどの各施策の導入効果や課題が把握できる見込みである。また、都心内の運行効率化や運賃施策の検討においても、今後検討を進めていくうえでの課題等が把握できる見込みである。</p>	<p>仙台市地域公共交通計画に位置づけた個別施策の「バス幹線区間・バス準幹線区間における利便性向上策の実施」について、事業者等との同意のもと、利用者の利便の増進に資する具体的な取組内容を定める「仙台市地域公共交通利便増進実施計画」を変更する予定である。</p>

<p>【二次評価】</p>

事業内容

【事業評価時点で完了している内容】

2.モビリティ・マネジメント

- (1) 住民MM
- (2) 交通フェスタ

【今後予定している内容】

1.ポスター、チラシ等の作成

- (1) 仙台都心循環線ポスター・チラシ
- (2) 八木山ラインポケット時刻表

2.モビリティ・マネジメント

- (1) 転入者MMチラシ作成
- (2) 仙台駅乗り継ぎガイド作成
- (3) 統合バスマップ作成

事業実施概要

1. ポスター・チラシ等の作成

令和8年度上半期に配布予定の「仙台都心循環線ポスターおよびチラシ」を作成する。

なお、昨年度作成した仙台都心循環線ポスター一約350枚およびチラシ約43,000枚を市内全ての小学校・児童館・幼稚園・保育所等へ配布した。

令和8年度上半期に配布予定の「八木山ラインポケット時刻表」を作成する。

向山地区連合町内会や八木山連合町内会、公共施設(地下鉄・市民センター)等に昨年度末作成した八木山ラインポケット時刻表を約24,000部配布した。

2. モビリティ・マネジメント

バス沿線地域において、模型を使った地下鉄切符の購入・改札通過、バス乗車の模擬体験を通して公共交通機関の利用方法を親子で学べる機会を提供し、行動変容に繋がる啓発を行った。

10月に交通フェスタを開催し、庁内外の団体にも参加いただきながら、鉄道やバスなどに関する様々なブースを出展し、公共交通の利用促進PR等を行った。

令和7年度末に配布予定の「転入者MMチラシ(知りたい！仙台の得する公共交通情報)」や「仙台駅乗り継ぎガイド」、「統合バスマップ(バスdeスマートに行こう)」を作成し、転入者や観光・ビジネス目的の来訪者に対して配布することで利用促進を図っている。



ポスター



チラシ



転入者MMチラシ 仙台駅乗り継ぎガイド 統合バスマップ

今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

○1月下旬

- ・仙台都心循環線ポスター・チラシ作成
- ・八木山ラインポケット時刻表作成

○2月上旬

- ・転入者MMチラシ(知りたい！仙台の得する公共交通情報)作成
- ・仙台駅乗り継ぎガイド作成
- ・統合バスマップ(バスdeスマートに行こう)作成

【今後の動き】

沿線住民や来訪者への利用促進につなげるための効果的な周知広報を実施していく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画推進に係る事業）

令和8年1月16日

協議会名：仙台市交通政策推進協議会

評価対象事業名：利便増進計画推進事業

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシ等の作成 ・モビリティ・マネジメント <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス・地下鉄乗車模擬体験イベントの実施 ・交通フェスタの開催 ・令和8年度上半期に配布予定の「仙台都心循環線ポスターおよびチラシ」を作成・配布予定 ・令和8年度上半期に配布予定の「八木山ラインポケット時刻表」を作成予定 ・「転入者MMチラシ（知りたい！仙台の得する公共交通情報）」を作成予定 ・「仙台駅乗り継ぎガイド」を作成予定 ・「統合バスマップ（バスdeスマートに行こう）」を作成予定 	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス・地下鉄乗車模擬体験イベントの実施、交通フェスタの開催を通じて公共交通の利用促進を図った。 ・ポスター・チラシ等の作成完了に向け、バス事業者等から情報収集を行った。 ・昨年度末に作成した「仙台都心循環線ポスターおよびチラシ」の配布の効果などにより仙台都心循環線の利用者数が増え、利用促進につながった。 <p>R5.10.1～R6.9.30の利用者数：44,024人 R6.10.1～R7.9.30の利用者数：49,584人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台都心循環線および八木山ラインの利用促進につなげるため、広報等による支援を継続して検討・実施する。 ・本市への転入者や来訪者の公共交通利用促進につなげるための効果的な周知広報を実施していく。

<p>【二次評価】</p>

地域公共交通計画

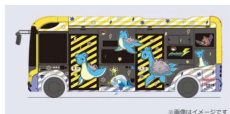
目的・必要性

仙台市地域公共交通計画では、路線バスの運行状況や沿線人口密度等を踏まえ、路線バスのネットワークについてエリア設定を行い、公共交通ネットワーク図として整理しているが、郊外等で人口が点在していること等から輸送需要の確保が課題と考えられるエリアを『みんなで育む多様な交通確保エリア』として位置付けており、このエリア内には、山村振興法第7条第1項に基づく振興山村地域や、路線廃止等により交通不便地域に指定されている地域などもある。そのため、通勤・通学・通院・買物等、日常生活に必要な不可欠な目的のために、令和5年4月より、青葉区新川地区の「ハツ森号」及び太白区坪沼地区の「つぼぬま号」、令和6年4月より、**太白区秋保地区の「ぐるりんあきう」の本格運行が開始された。**くわえて、公共交通の需要が一定程度見込まれ、路線バスにより運行を維持するエリアを『みんなで支える路線バスエリア』として位置付けている。都心エリアにおいては、都心での多様な活動や利便性を高めるため、公共交通等による都心回遊の促進及び旅行者等が移動しやすい環境整備に向け、令和5年4月より宮城交通(株)の『仙台都心循環線』の本格運行が開始されている。地域公共交通確保維持改善事業により、当該乗合タクシー及び循環線を維持することで、住民の生活交通手段を確保する必要がある。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】

- 乗合タクシー「つぼぬま号」(運行区域：坪沼地区)
 - ・運行日：月曜日～金曜日(※祝日、お盆期間、年末年始は運休)
 - ・運行時間帯：8:15～17:10
 - ・運賃：400円(高齢者等は100円)
- 乗合タクシー「ハツ森号」(運行区域：新川地区)
 - ・運行日：月曜日～土曜日(※祝日、年末年始は運休)
 - ・運行時間帯：7:00～20:00
 - ・運賃：600円・900円(高齢者等は120円・180円)
- 乗合タクシー「ぐるりんあきう」(運行区域：秋保地区)
 - ・運行日：月曜日～金曜日(※祝日、年末年始は運休)
 - ・運行時間帯：6:00～18:00
 - ・運賃：200円・400円・600円(高齢者等は100円・200円・300円)
- 路線定期運行「仙台都心循環線」
 - 運行区域：仙台市内中心市街地
 - 運行日：全日
 - 始発9:00 最終17:40発
 - 運行本数：18便/日、1周：21分
 - 運賃：120円(大人)、60円(こども)均一



①ラプラスとでんき・みずタイプのポケモンたち

②ラプラスとでんき・こおりタイプのポケモンたち

基礎データ

面積：786.35平方キロメートル
 人口：1,064,910人 高齢化率：25.24% (R6.10.1現在・住民基本台帳)
 協議会開催数：4回 (R6.10～R7.9)
 地元組織による協議回数：坪沼地区4回、新川地区6回、秋保地区10回
 ワーキング9回 (R6.10～R7.9)

前回の評価結果

- ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。
- ・「ハツ森号」においては、利用者満足度が低下(前回調査時：67%)した要因を分析し、必要に応じ対策を検討されることを助言する。

【評価】

- (一次) 施策実施状況調査において、利用者のニーズを把握し、必要に応じてさらなる改善策に取り組む。
- (二次) 地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価します。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画に基づく事業）

令和8年1月16日

協議会名：仙台市地域交通推進協議会

評価対象事業者名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（2事業年度前）（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
KM仙台タクシー(株)	<p>乗合タクシー「つぼぬま号」 運行区域：坪沼地区 運行日：月曜日～金曜日 ※土・日・祝日、お盆期間、年末年始は運休 運行時間帯：8：15～17：10 運賃：400円 ※高齢者等は100円</p> <p>・広報紙の発行等による利用促進 ・アンケート等による利用者ニーズの把握</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・年4回開催した地域の協議会において利用実績の確認を行い、状況を踏まえた広報紙発行の検討など、利用促進に向け取り組んだ。 ・利用者アンケートを実施した。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・広報紙の発行により、地域住民への周知が図られ、安定的な利用につながった。 ・現運行内容の妥当性を確認できた。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成できた。</p> <p>① ①利用者数 B 【目標】利用者数：708人/年 【実績】699人（R6.10～R7.9） 【達成率】99%</p> <p>② ②利用者満足度 A 【目標】90%以上 【実績】100% 【達成率】111%</p>	<p>・さらなる利用促進に向け広報紙等により周知を図るとともに、アンケート等により利用者のニーズを把握するよう努める。</p>
相互タクシー(株)	<p>乗合タクシー「ハツ森号」 運行区域：新川地区 運行日：月曜日～土曜日 ※日曜日、祝日、年末年始は運休 運行時間帯：7：00～20：00 運賃：600円・900円 ※高齢者等は120円・180円</p> <p>・広報紙の発行等による利用促進 ・アンケート等による利用者ニーズの把握</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。 ・利用者満足度が低下した要因を分析し、必要に応じ対策を検討されること。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・年6回開催した地域の検討会において利用実績の確認を行い、状況を踏まえた広報紙発行の検討など、利用促進に向け取り組んだ。 ・サービス改善に向け、乗降ポイントの見直しをアンケートを実施するなど利用者の声を聴きながら検討した。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・広報紙の発行により、地域住民への周知が図られ、安定的な利用につながった。 ・利用者のニーズに合った乗降ポイントの見直しを検討した。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>① ①利用者数 ① B 【目標】利用者数：2,333人/年 【実績】2,028人（R6.10～R7.9） 【達成率】87%</p> <p>② ②利用者満足度 C 【目標】90%以上 【実績】67% 【達成率】74%</p> <p>※満足度調査において不満と回答した方の理由としては、当日の予約を可能とするなど、サービス改善を望む意見があった。</p>	<p>・さらなる利用促進に向け広報紙等により周知を図るとともに、アンケート等により利用者のニーズを把握するよう努める。 ・持続的な運行に向け、次事業年度からの運行時刻及び乗降ポイントの見直しを実施している。さらなるサービス改善に向け、今後も継続して取り組んでいく。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（2事業年度前）（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
(有)秋保交通	<p>乗合タクシー「ぐるりんあきう」 運行区域：秋保地区 運行日：月曜日～金曜日 ※土・日・祝日、年末年始は運休 運行時間帯：6:00～18:00 運賃：200円・400円・600円 ※高齢者等は100円、学生は半額</p> <p>・広報紙の発行等による利用促進 ・アンケート等による利用者ニーズの把握</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・年10回開催した地域の協議会において利用実績の確認を行い、状況を踏まえた広報紙発行の検討など、利用促進に向け取り組んだ。 ・利用者アンケートを実施した。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・広報紙の発行により、地域住民への周知が図られ、さらなる利用につながった。 ・現運行内容の妥当性を確認できた。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できた。</p> <p>①利用者数 【目標】利用者数：4,237人/年 【実績】5,658人（R6.10～R7.9） 【達成率】134% ※広報紙の発行等、利用促進の取組みにより周知が図られ、利用者の増加につながったと想定される。</p> <p>②利用者満足度 【目標】90%以上 【実績】95% 【達成率】106%</p>	<p>・さらなる利用促進に向け広報紙等により周知を図るとともに、アンケート等により利用者のニーズを把握するよう努める。</p>
宮城交通(株)	<p>路線定期運行「仙台都心循環線」 運行区域：仙台市内中心市街地 運行日：全日 始発9：00発 最終17：40発 運行本数：18便／日、 1周：21分 運賃：120円（大人）、60円（こども）均一</p> <p>・広報による利用促進</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 計画への反映の有無：有 ・仙台都心循環線の利用促進に向けて市民にポスター掲示及びチラシ配布による周知広報を実施。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・R7.6月を除く全ての月で、前年同月を上回る利用者数を記録した。特にR7.7月、R7.8月の利用者数が多く、小学校の夏休み直前に行ったポスターの掲示やチラシの配布により、利用が促進された。</p>	<p>A</p> <p>【目標値】 年間38,614人 【実績値】 年間49,584人 【達成率】 128%</p>	<p>・引き続き利用促進に向け、ポスター掲示やチラシ配布による周知広報を実施する。</p>

【二次評価】

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通調査事業）

令和8年1月16日

協議会名：仙台市交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域公共交通調査事業

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性及び交通の現況と課題整理 ・公共交通ネットワークの検討 ・地域交通のあり方検討 ・次期地域公共交通計画の骨子案とりまとめ <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理やパーソントリップ調査結果の分析などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・交通事業者の有するデータをもとに、市全域のバス路線について、区間毎の運行本数や利用者数を把握することができた。 ・次期計画における公共交通ネットワークのエリア及び区間等について交通事業者と協議・調整を行い、目標・基本方針や公共交通ネットワーク、施策、評価指標・推進体制等の概要をまとめた骨子案を作成。 ・今後の協議会の検討を経て、次期計画の骨子案をとりまとめる。 	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された（される見込み）。</p> <p>A</p> <p>今回の事業で実施した調査分析等によって、路線バスの利用者数は新型コロナの影響からの回復により増加傾向にあるものの、深刻な運転士不足により減便等が進んでいる状況が明確になった。また、公共交通ネットワークのエリア及び区間の設定の基礎となる、現状の路線バスの運行本数や利用者数の状況を把握することができた。</p>	<p>効率的な路線バス網を構築するため、既存の鉄道との接続も踏まえ、路線バスの運行効率化と利便性の確保が図られるよう、次期計画におけるエリア及びバス幹線区間・準幹線区間・フィーダー区間の設定と必要な施策の具体化を行い、地域の実情に即した計画となるよう検討を進める。</p>

【二次評価】

- ・調査が適切に実施される見込みであることが確認できました。
- ・調査で明らかになった課題等を踏まえ、R9年3月策定に向け、今年度は必要な施策の検討を行い、来年度は地域公共交通計画を策定するとともに、計画改定後は計画に位置付けた施策の取組状況や目標の達成状況についてモニタリング・検証を行い、公共交通の利便性・効率性・持続可能性の向上に向けた地域での継続的な議論・検討が実施されることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）

令和8年1月16日

協議会名：仙台市交通政策推進協議会

評価対象事業名：利便増進計画策定事業

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業内容】 (1) 利便増進実施計画に関する調査分析 ①都心内の運行効率化の検討 ②連節バス・PTPS等導入の検討 ③路線バスの利便性向上・運行効率化に向けた運賃施策の検討 (2) 公共交通ワーキングへの参加</p> <p>【結果概要】 ・令和6年度に実施した現地調査により収集したデータを用いて、交通シミュレーションを構築。 ・今後は、各施策を導入した場合のシミュレーション結果同士を比較し、導入の効果を検証。 ・また、都心内の運行効率化や運賃施策の検討についても、今後実施を予定。</p>	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された（される見込み）。</p> <p>A 今回の事業で実施した調査分析等によって、連節バスに関わるPTPSやバスレーンなどの各施策の導入効果や課題が把握できる見込みである。また、都心内の運行効率化や運賃施策の検討においても、今後検討を進めていくうえでの課題等が把握できる見込みである。</p>	<p>仙台市地域公共交通計画に位置づけた個別施策の「バス幹線区間・バス準幹線区間における利便性向上策の実施」について、事業者等との同意のもと、利用者の利便の増進に資する具体的な取組内容を定める「仙台市地域公共交通利便増進実施計画」を変更する予定である。</p>
<p>【二次評価】 ・事業が適切に実施される見込みであることが確認できました。 ・引き続き運行効率化に向けた施策の検討を行い、調査により取りまとめた結果を利便増進実施計画に反映させるとともに、施策の着実な実施やその効果のモニタリング・検証を通じて、公共交通の一層の利便性・持続可能性向上に向けた取組が進展することを期待します。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画推進に係る事業）

令和8年1月16日

協議会名：仙台市交通政策推進協議会

評価対象事業名：利便増進計画推進事業

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシ等の作成 ・モビリティ・マネジメント <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス・地下鉄乗車模擬体験イベントの実施 ・交通フェスタの開催 ・令和8年度上半期に配布予定の「仙台都心循環線ポスターおよびチラシ」を作成・配布予定 ・令和8年度上半期に配布予定の「八木山ラインポケット時刻表」を作成予定 ・「転入者MMチラシ（知りたい！仙台の得する公共交通情報）」を作成予定 ・「仙台駅乗り継ぎガイド」を作成予定 ・「統合バスマップ（バスdeスマートに行こう）」を作成予定 	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス・地下鉄乗車模擬体験イベントの実施、交通フェスタの開催を通じて公共交通の利用促進を図った。 ・ポスター・チラシ等の作成完了に向け、バス事業者等から情報収集を行った。 ・昨年度末に作成した「仙台都心循環線ポスターおよびチラシ」の配布の効果などにより仙台都心循環線の利用者数が増え、利用促進につながった。 <p>R5.10.1～R6.9.30の利用者数：44,024人 R6.10.1～R7.9.30の利用者数：49,584人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台都心循環線および八木山ラインの利用促進につなげるため、広報等による支援を継続して検討・実施する。 ・本市への転入者や来訪者の公共交通利用促進につなげるための効果的な周知広報を実施していく。

【二次評価】

- ・事業が適切に実施される見込みであることが確認できました。
- ・事業実施後は利便増進実施計画に位置付けられた利便増進事業と併せて効果検証を行い、さらなる利用促進策の充実・効果的な実施を通じて地域公共交通計画の目標達成に繋げていくことを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画に基づく事業）

令和8年1月16日

協議会名：仙台市地域交通推進協議会

評価対象事業者名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（2事業年度前）（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
KM仙台タクシー(株)	<p>乗合タクシー「つぼぬま号」 運行区域：坪沼地区 運行日：月曜日～金曜日 ※土・日・祝日、お盆期間、年末年始は運休 運行時間帯：8：15～17：10 運賃：400円 ※高齢者等は100円</p> <p>・広報紙の発行等による利用促進 ・アンケート等による利用者ニーズの把握</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・年4回開催した地域の協議会において利用実績の確認を行い、状況を踏まえた広報紙発行の検討など、利用促進に向け取り組んだ。 ・利用者アンケートを実施した。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・広報紙の発行により、地域住民への周知が図られ、安定的な利用につながった。 ・現運行内容の妥当性を確認できた。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成できた。</p> <p>① ①利用者数 B 【目標】利用者数：708人/年 【実績】699人（R6.10～R7.9） 【達成率】99%</p> <p>② ②利用者満足度 A 【目標】90%以上 【実績】100% 【達成率】111%</p>	<p>・さらなる利用促進に向け広報紙等により周知を図るとともに、アンケート等により利用者のニーズを把握するよう努める。</p>
相互タクシー(株)	<p>乗合タクシー「ハツ森号」 運行区域：新川地区 運行日：月曜日～土曜日 ※日曜日、祝日、年末年始は運休 運行時間帯：7：00～20：00 運賃：600円・900円 ※高齢者等は120円・180円</p> <p>・広報紙の発行等による利用促進 ・アンケート等による利用者ニーズの把握</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。 ・利用者満足度が低下した要因を分析し、必要に応じ対策を検討されること。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・年6回開催した地域の検討会において利用実績の確認を行い、状況を踏まえた広報紙発行の検討など、利用促進に向け取り組んだ。 ・サービス改善に向け、乗降ポイントの見直しをアンケートを実施するなど利用者の声を聴きながら検討した。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・広報紙の発行により、地域住民への周知が図られ、安定的な利用につながった。 ・利用者のニーズに合った乗降ポイントの見直しを検討した。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>① ①利用者数 ① B 【目標】利用者数：2,333人/年 【実績】2,028人（R6.10～R7.9） 【達成率】87%</p> <p>② ②利用者満足度 C 【目標】90%以上 【実績】67% 【達成率】74% ※満足度調査において不満と回答した方の理由としては、当日の予約を可能とするなど、サービス改善を望む意見があった。</p>	<p>・さらなる利用促進に向け広報紙等により周知を図るとともに、アンケート等により利用者のニーズを把握するよう努める。 ・持続的な運行に向け、次事業年度からの運行時刻及び乗降ポイントの見直しを実施している。さらなるサービス改善に向け、今後も継続して取り組んでいく。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（2事業年度前）（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
(有)秋保交通	<p>乗合タクシー「ぐるりんあきう」 運行区域：秋保地区 運行日：月曜日～金曜日 ※土・日・祝日、年末年始は運休 運行時間帯：6:00～18:00 運賃：200円・400円・600円 ※高齢者等は100円、学生は半額</p> <p>・広報紙の発行等による利用促進 ・アンケート等による利用者ニーズの把握</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・年10回開催した地域の協議会において利用実績の確認を行い、状況を踏まえた広報紙発行の検討など、利用促進に向け取り組んだ。 ・利用者アンケートを実施した。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・広報紙の発行により、地域住民への周知が図られ、さらなる利用につながった。 ・現運行内容の妥当性を確認できた。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できた。</p> <p>①利用者数 【目標】利用者数：4,237人/年 【実績】5,658人（R6.10～R7.9） 【達成率】134% ※広報紙の発行等、利用促進の取り組みにより周知が図られ、利用者の増加につながったと想定される。</p> <p>②利用者満足度 【目標】90%以上 【実績】95% 【達成率】106%</p>	<p>・さらなる利用促進に向け広報紙等により周知を図るとともに、アンケート等により利用者のニーズを把握するよう努める。</p>
宮城交通(株)	<p>路線定期運行「仙台都心循環線」 運行区域：仙台市内中心市街地 運行日：全日 始発9：00発 最終17：40発 運行本数：18便／日、1周：21分 運賃：120円（大人）、60円（こども）均一</p> <p>・広報による利用促進</p>	<p>【前回（2事業年度前）の評価結果】 ・地域の協議会における利用促進策の検討やポスター掲示・チラシ配布による周知広報等、利用促進に向けた取組を実施し、概ね目標達成できている点を評価する。引き続き、周知やニーズ把握等を通じた利用促進に向けた取組の展開に期待する。</p> <p>【評価結果の反映状況】 計画への反映の有無：有 ・仙台都心循環線の利用促進に向けて市民にポスター掲示及びチラシ配布による周知広報を実施。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・R7.6月を除く全ての月で、前年同月を上回る利用者数を記録した。特にR7.7月、R7.8月の利用者数が多く、小学校の夏休み直前に行ったポスターの掲示やチラシの配布により、利用が促進された。</p>	<p>A</p> <p>【目標値】 年間38,614人 【実績値】 年間49,584人 【達成率】 128%</p>	<p>・引き続き利用促進に向け、ポスター掲示やチラシ配布による周知広報を実施する。</p>

【二次評価】
 ・広報等による周知を行い利用促進に取り組むとともに、定期的で開催している地域協議会や利用者アンケートを通して利用実績やニーズの把握に努めている点を評価します。
 ・引き続き、収集した利用実績等に基づき、実施事業の効果検証に仕組み、必要に応じて運行方法の見直し等改善策の検討・実施を行っていくことを期待します。